



「光のさなぎ」2013 丸木美術館

## 安藤栄作個展 *Shambhala*

シャンバラ *Eisaku ANDO solo exhibition*

会 期：2014年4月12日（土）－ 5月6日（祝・火）

開廊時間：12時～19時（最終日は17時まで）

休 廊：4月14日（月）15日（火）21日（月）22日（火）28日（月）29日（祝・火）

トークイベント：4月12日（土）15時～16時30分 参加費1,000円

岡村幸宣（丸木美術館学芸員）×安藤栄作

トークイベントに引き続き、レセプションを行います。

原木や流木を手斧一本で叩き、人と自然の交感を表現する彫刻家・安藤栄作は、人の魂や身体に宿る原初的な風景を制作しています。

昨年春、原爆の図 丸木美術館で開催された安藤栄作展では、原発に対峙する「魂」と、天と地の和解への「祈り」が込められた《光のさなぎ》シリーズを発表しました。

《光のさなぎ》は、3メートルほどのヒノキの丸太を手斧で叩いて削り出した作品で、慈しみながら向き合う男女の姿を表しています。

「人はどんな状況にあっても光を生み出すサナギのようなもの。男性・女性が互いに大切な存在として誠実に愛し、その光で世界を満たしてほしい」（安藤栄作）という願いが込められています。

丸木美術館では、福島第一原発を線描した縦4メートル・横12メートルのドローイングを背景に《光のさなぎ》6体を展示。原発事故後の困難な時代に向き合う「魂」の彫刻として、大きな反響を呼びました。本展では、関西では初の出展となる《光のさなぎ》を中心に、最新作の数々を展示致します。

シャンバラは古代から言い伝えのある世界、

愛を中心に世界が繋がり構築された伝説の都。

2011年3月、私達の欲望の象徴ともいえる原子力発電所が爆発した。

その影響は放射能と共に大気、大地、海、家族、友人、仕事に降りかかり、

3年経った今でもあらゆるものを分裂させ崩壊させ続けている。

私達は原発事故という負の経験を足掛かりにこの地上に、

愛で繋がった伝説の都シャンバラを生み出すことが出来るだろうか。

[安藤栄作・彫刻家]

#### □作家略歴□

#### 安藤栄作 Eisaku ANDO

- 1961年 東京生まれ
- 1986年 東京藝術大学美術学部彫刻科卒業
- 1990年 福島県いわき市の山間部に移住
- 1997年 エッセイ集『降りてくる空気』出版
- 2007年 いわき市の海沿いに移住
- 2011年 東日本大震災の津波により家を流され、原発事故を機に奈良県明日香村に避難
- 2012年 奈良県天理市に移住
- 2013年 絵本『あくしゅだ』をクレヨンハウスから出版

#### |個展|

- 1992年 「NEW ART SCENE IN IWAKI・EISAKU ANDO」(いわき市立美術館)
- 1993年 「10画廊からの発言・安藤栄作展」(ギャラリーK・東京)
- 1995年 ギャラリーTAGA (東京) 以降 '97 '98 '99 '01 にも開催
- 1997年 ギャラリーいわき (福島) 以降 '00 '02 '04 '06 '08 '10 '12にも開催  
「いわき地域学会美術賞記念・安藤栄作展」(ギャラリー界限・福島)
- 2001年 「アボリジニに捧ぐー森の人からのメッセージ・安藤栄作展」(いわき市立美術館)
- 2003年 「N・E・blood 21 vol.6 EISAKU ANDO」(リアスアーク美術館・宮城)
- 2007年 「Breeze of Soul・EISAKU ANDO」(エキジビションスペース・東京国際フォーラム)
- 2009年 「Being・安藤栄作展」(アートワークスギャラリー・茨城)  
「天の果実・新たな共生の芸術を求めて・安藤栄作展」(ギャラリー志門・東京)  
「安藤栄作・野生の記憶」(京都造形芸術大学美術館)
- 2010年 a piece of space APS(東京)
- 2011年 「Age of Soul・安藤栄作展」(ギャラリー志門・東京)  
「天と地の和解・安藤栄作展」(橘画廊・大阪)
- 2012年 「ドローイング&彫刻・安藤栄作展」(ギャラリー志門・東京)  
「ドローイング展・安藤栄作」(沖縄芸術大学・沖縄)  
「鳳凰・安藤栄作展」(ギャラリーあしやシュレ・兵庫)
- 2013年 「光のさなぎ・安藤栄作展」(APS & ギャラリー カメリア/ 東京)  
「光のさなぎたち・安藤栄作展」(原爆の図 丸木美術館・埼玉)  
「やおよろず会議・安藤栄作展」(ギャラリーメゾンダール・大阪)

|グループ展|

- 1991年 いわきアートセレブレーション '91 パフォーマンスアート (いわき市立美術館)  
1994年 日仏ミクストメディア・アートコミュニケーション(シアターX・東京)  
1995年 日韓現代美術展 to A from A (神奈川県民ホールギャラリー / 韓国釜山)  
1996年 福島の新世代 '96(福島県立美術館)  
1997年 第5回国際コンテンポラリーアートフェスティバル(東京ビックサイト)  
1999年 境界を超えて・立体表現の拡がりパート I (いわき市立美術館)  
2001年 うつくしま未来博「森の人プロジェクト」プロデュース・制作 (福島)  
ヴァイブレーション・結び合う知覚 (宇都宮美術館)  
2004年 第3回アールエポック展 (茨城県天心記念五浦美術館)  
2005年 アジアの潜在力・海と島が育んだ美術 (愛知県立美術館)  
2007年 「盆景・My favorite garden」(APS・東京)  
2008年 丸木スマ展・世代を超えて共演 (埼玉県立近代美術館)  
福島現代美術ビエンナーレYAMA (福島文化センター)  
2009年 大地の芸術祭・越後妻有アートトリエンナーレ (松代農舞台ギャラリー・新潟)  
「岡本太郎の博物館・はじめる視点～博物館から覚醒するアーティストたち～」 (福島県立博物館)  
2011年 「いま。つくりたいもの。伝えたいこと」 (いわき市立美術館)  
HANARART・奈良町屋の芸術祭 (奈良県)  
「COSMIC SPIRIT 安藤栄作・長谷川浩子」(ギャラリー志門・東京)  
2012年 「みずぎわのぐるり / 安藤栄作・加藤悦郎・原田要」(2kw ギャラリー・大阪)  
アート京都2012(ホテルモントレ京都・ギャラリーメゾンダールブース)  
アートフェア東京2012(東京国際フォーラム)  
「彫刻コレクション/安藤栄作・デイビッド ナッシュ・富永敦也」(MU 東心斎橋画廊・大阪)  
2013年 「デッサン展」(アートスペース エリコーナ・福島)  
「アートミーティング・田人の森に遊ぶ」(福島)  
「2013・三義国際木彫芸術祭」(台湾)  
「光の降りる時代・25 Spirits」(MU東心斎橋画廊・大阪)  
「やおよろずピースウォーク」ご神体制作 (和歌山ピースウォーク)  
2014年 「デッサン展」(アートスペース エリコーナ・福島)  
「第2回 IMAGINE FUKUSHIMA 展」(コート・ギャラリー国立・東京)  
「アリオス現代美術館」(いわきアリオス・福島)

他/個展・グループ展・パフォーマンス・ワークショップ・作品設置など多数。